研究開発型製薬企業のｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙの変化-2

欧米では2000年前後にﾒｶﾞﾌｧｰﾏが誕生し、その後はﾍﾞﾝﾁｬｰ提携・買収などによりﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝの充実を図ってきたが、我が国では2005年頃から企業統合が進み、最近になってバイオ企業等の買収など大型投資を始めており、欧米ﾒｶﾞﾌｧｰﾏとのｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ競争を展開している。

1995　　2000　　2005

欧米の製薬企業

← 水平統合による規模の拡大 →

ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ(1996)　ﾌｧｲｻﾞｰ・ﾜｰﾅｰ(2000)　ﾌｧｲｻﾞｰ・ﾌｧﾙﾏｼｱ(2003)
ｸﾞﾗｸｿ・ｽﾐｽｸﾗｲﾝ(2000)　ｻﾉﾌｨｱﾍﾞﾝﾃｨｽ(2005)
ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ(1999)　ﾛｼｭ・中外(2002)

← ﾍﾞﾝﾁｬｰ等提携・買収によるﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝの拡大 →

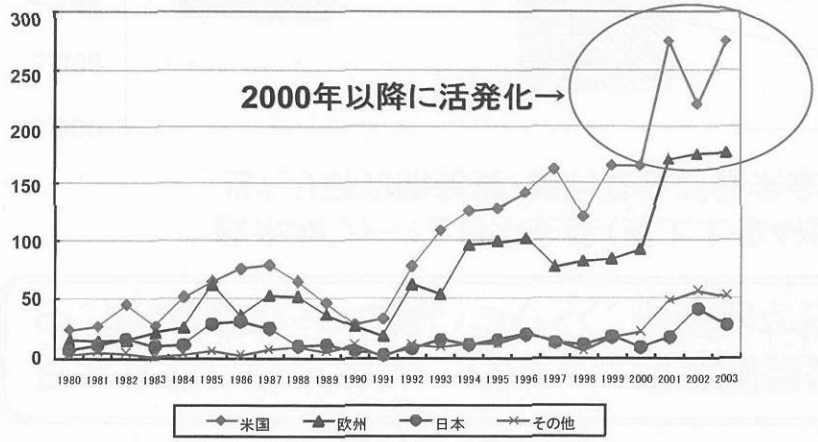
日本の製薬企業

← 水平統合による規模の拡大 →

ｱｽﾃﾗｽ(2005)　第一三共(2007)
大日本住友(2005)　田辺三菱(2007)

← ﾍﾞﾝﾁｬｰ等提携・買収 →

【参考】バイオテクノロジー分野の技術提携数の年次推移



注：国・地域が異なる場合は、当該区分に重複してカウント
出所：NSF S&E Indicators 2006

【参考】2005年以降の代表的なM&A

対象企業/買収企業（買収年）	買収額（億円）
MedImmune/ｱｽﾄﾗｾﾞﾈｶ(2007)	18,600
Chiron/ﾉﾊﾞﾙﾃｨｽ(2006)	6,000
Abgenix/ｱﾑｼﾞｪﾝ(2006)	3,100
Vicuron/ﾌｧｲｻﾞｰ(2005)	2,100
ID Biomedhical/GSK(2005)	1,700
Sirna/ﾒﾙｸ(2006)	1,300
ﾐﾚﾆｱﾑ/武田(2008)	8,800
MGIﾌｧｰﾏ/ｴｰｻﾞｲ(2008)	4,100

出所：各社公表資料（買収完了時の為替ﾚｰﾄで換算した概算額）